

どの子も輝く
笑顔いっぱい

とね幼だより

よい頭・よい躰・強い体



平成30年4月

ご入園・ご進級おめでとうございます

園長 笛木 哲

また季節が巡って春がやってきました。園庭に植えられた卒園記念の桜の木から、ひとひらの花びらが風に舞って園長室まで飛んできました。さくらんぼ(預かり保育)の園児の元気な声が園庭に響いています。目にまぶしい芝生の緑が、園児の登園を今か今かと待ち構えています。暖かな日差しに包まれて園庭を眺めていると、とねがわ幼稚園をまた好きになります。とねがわ幼稚園の職員であることに誇りを感じます。

4月7日、75名の新入園児を迎え、全園児207名と25名の職員で、平成30年度がスタートしました。本年度は、幼稚園要領(全国どの幼児教育施設に通っていても同じ質やレベルの幼児教育を受けられるよう幼稚園で教える内容や目標を示したもの)が改定されました。本園でも「粘り強い」「主体的である」といった生きる力を重視する教育を一年間通して行ってまいります。

幼児期の教育は、生涯にわたる人格の基礎を培うとても大切なものです。保護者の皆様と幼稚園とが共に信頼し合い、園児一人ひとりをより輝かすために知恵を出し合い、労を惜しまず、園児の気持ちにより添って育ててまいります。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

<職員の異動について>

昨年度まで本園にお勤めいただいた小林紀子園長先生、杉本愛弓先生、山口扶由子先生、柴田洋司運転手をご退職され、井出絵美先生と笛木(園長)が着任しました。退職者へのご厚意に深く感謝すると共に、転入職員へもご支援・ご協力をお願いいたします。

<4月の保育について>

本園の教育目標である「よい頭・よい躰(しつけ)、強い体」を目指し、優しさと厳しさ、支援と指導という両輪で、207名の子どもたちを本気で育ててまいります。

4月は、「環境に慣れる」ことを主眼に保育を進めてまいります。教室も担任も替わります。共に過ごす仲間が違います。中には初めての集団生活を体験する園児もいます。まずは、環境を受け入れ、自分の居場所を見つけることが大切です。教師にとっては生まれた環境、個性の違う園児一人ひとりを理解する大切な時でもあります。

保護者の皆様におかれましては、笑顔で園児を送り出し、笑顔で園児を迎えて欲しいと思います。時には「幼稚園に行かない」と駄々をこねることがあるかもしれませんが、でもご安心ください。本園の教師は皆、園児の思いをしっかりと受け止めてくれます。